| 科目ナンバリング | U-LAS15 10009 LJ58 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名<英訳> | 地球の営みII －地球史<br>How the Earth Works II -Earth's History | | 担当者所属職名・氏名 | 人間・環境学研究科 教授 | 小木曽　哲 |
| 群 | 自然科学科目群 | 分野(分類) | 地球科学(基礎) | 使用言語 | 日本語 |
| 旧群 | B群 | 単位数 | 2単位 | 週コマ数 | 1コマ | 授業形態 | 講義（対面授業科目） |
| 開講年度・開講期 | 2026・後期 | 曜時限 | 月5 | 配当学年 | 全回生 | 対象学生 | 文系向 |

**[授業の概要・目的]**

地球は、今からおよそ46億年前、原始太陽系星雲の中で、融けた岩石と金属からなる「火の玉」として誕生した。その頃の地球は、金星・火星・水星とお互いに似たような惑星だったらしい。しかしその後、地球だけに生命が誕生し、ついには人類という知的生命体が繁栄できるまでに至った。その歴史の中で、地球はどのような変化を経験してきたのだろうか。なぜ地球だけが、他の惑星とは違う運命をたどったのだろうか。そこには、どのような必然性と偶然性があったのだろうか。
本授業では、地球を地球たらしめている要因は何か、という視点を軸にしながら、46億年という途方もなく長い時間の中で、地球の表層と内部がどのような変動を起こしてきたのか、その歴史を解説する。

**[到達目標]**

地球が誕生してから現在に至るまで、絶えず変化してきた歴史を知り、地球という惑星の特殊性・普遍性、地球が現在のような姿になったことの必然性・偶然性に関して自ら考察し、「自分なりの地球観」を持つ。

**[授業計画と内容]**

以下のテーマについて、１テーマあたり１～２週の講義を、フィードバックを含めて全15回分行う。

１．太陽系と地球の形成
２．プレートテクトニクスの始まり
３．生命の誕生と進化
４．大気の進化
５．大陸の形成と分裂
６．全地球凍結
７．生命の大進化と大絶滅
８．気候の温暖化と寒冷化
９．人類の歴史と地球環境

**[履修要件]**

高校での地学履修は前提としない。地球に興味がある人は誰でも歓迎。授業中に必要となる知識については、授業内で適宜解説する。

**[成績評価の方法・観点]**

授業への参加状況と、講義のテーマに対応して課す課題（複数回）の内容で評価する。課題は、自分なりの地球観で論考できているか、という観点で評価する。詳細は第１回目の講義時に説明する。

地球の営みII －地球史(2)へ続く↓↓↓

**地球の営みII －地球史(2)**

**[教科書]**

使用しない

**[参考書等]**

**（参考書）**
授業中に紹介する

**[授業外学修（予習・復習）等]**

授業中に紹介する参考文献の関連部分を読むことを推奨する。

**[その他（オフィスアワー等）]**

**[主要授業科目（学部・学科名）]**